

平成29年(2017) 12月4日～6日

平成29年度(2017)

第4回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成29年度（2017）第4回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表 目次

12月4日（月） 10:00 開会			12月5日（火） 10:00 開会			12月6日（水） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	福島孝雄	3	1	玉木満	10	1	長廻利行	19
2	神門至	4	2	後藤由美	11 ～ 12	2	大場利信	20 ～ 21
3	岸道三	5	3	西村亮	13	3	保科孝充	22
4	勝部順子	6	4	川光秀昭	14	4	板倉一郎	23
5	児玉俊雄	7	5	本田一勇	15	5	今岡真治	24
6	錦織稔	8	6	山内英司	16	6	湯浅啓史	25
7	大谷良治	9	7	伊藤繁満	17 ～ 18			

質問者	15	福島孝雄		
質問事項・質問内容			答弁を 求める者	記事
(1) 防災士の育成について			市長	
① 全国・県内・市内の防災士の状況を伺う。 ② 防災士の認定資格について ア 受講料の詳細を伺う。 イ 県内自治体の受講補助額を伺う。 ウ 島根県での講習会の状況を伺う。 ③ 出雲市としての防災士育成の考え、受講料の助成について伺う。				
(2) 図書館の利用について			市長	
① 出雲市の各図書館の本の貸し出し状況を伺う。 ② 返却ポストの利用状況について ア 各図書館に設置の返却ポストの利用状況を伺う。 イ 廃止となった斐川町東部の返却ポストの利用数を伺う。 ウ 遠距離利用者、時間外利用者のための返却ポスト設置の考えについて伺う。				
(3) 農業の収入保険について			農林水産 部長	
① 新制度の収入保険の概要について伺う。 ア 収入保険加入のメリット。 イ 農業共済・収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）との関係。 ウ 選択の参考となる資産ソフトの利用。 エ 今後、各農家への説明スケジュール。				

質問者	1 2 神 門 至		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
(1) (株) 出雲村田製作所周辺地域の環境整備及び対策について			市長	
<p>① (株) 出雲村田製作所周辺地域の環境整備と交通事故対策などについて、どの担当部署でどのような検討がなされているのか伺います。</p> <p>ア これまでの具体的な検討内容及び対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> a 交通事故の状況 b 交通渋滞の緩和 c 都市計画道路等の道路および道路照明の整備 d 信号機・横断歩道の設置 e 通学路の確保 f 雨水・排水対策 g その他の課題及び対策 <p>イ 今後の進め方及び周辺地域の将来ビジョンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> a 今後の進め方の考え方 b 周辺地域の将来ビジョンの考え方 				
(2) 東京2020オリンピック・パラリンピックへの対応について			市民文化 部長	
<p>① 東京2020オリンピック・パラリンピックへの対応については、これまでも検討がなされておりますが、スポーツ振興及び観光振興などの地域活性化の視点において、その効果を含め、どの担当部署でどのような検討がなされているのか伺います。</p> <p>ア これまでの具体的な検討状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> a 市の状況 b 県の状況 <p>イ 今後の具体的な対応とスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> a 今後の具体的な対応は b 今後のスケジュールは 				

質問者	10 岸 道 三		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 農振除外の現状と課題について		市長	
① 農業振興地域における農地減少の現状と今後の推移 ② 農地が減少していることについての考え ③ 土地利用の秩序化に向けた対策			
(2) 小中学校における課題（問題行動等・教職員の負担軽減）について			
① 問題行動等における傾向と課題 ② 問題行動等における県内の状況などについて情報共有が図られているか ③ 校務支援システムの導入の効果と長時間労働是正の現状 ④ 部活動のあり方の検討における進ちょく状況		教育長	

質問者	29 勝部 順子		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 市営住宅に関する課題について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 市営住宅の、外国籍の方の入居状況。 ② 外国籍の方の自治会加入状況。 ③ 住宅にお住まいの方と、外国籍の入居者の間にコミュニケーションは、取れているのでしょうか。詳細を伺います。 		都市計画 担当部長	
(2) 旧有原住宅の跡地の活用について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 高瀬川沿いの旧有原住宅の解体工事が進められています。跡地の活用についての考えを伺います。 ② 高瀬川沿いの自転車道路は、朝夕多くの方が利用されています。また通学路にもなっています。登下校の児童たちへの、安全を守るためにもっと街路灯が必要と考えますが、市の考えを伺います。 		都市計画 担当部長	

質問者	6	児 玉 俊 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 高齢者等の住宅確保対策について		市長	
① 住宅セーフティネット法が改正され、新たな住宅セーフティネット制度が打ち出されたが、これに対する県及び居住支援協議会の動向を伺う。 ② 空き家活用策なども盛り込まれた新制度への市の対応と市の居住支援協議会の設置について伺う。 ③ 空き家対策を含む総合的な住宅確保対策のために体制を強化する考えはないか伺う。			
(2) 新体育館建設の基本方針について			
① 新体育館建設に対する基本的な考え方を伺う。		市長	

質問者	7 錦 織 稔		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事	
(1) 水産業の人材育成と水産物のブランド化について		農林水産 部長		
① 水産業の新規認定就労者について ア 新規認定就労者・新規漁業者の確保と現在の取り組み イ 漁業の就業人口・平均年齢の推移 ウ 目標値（H33年度）に向けての課題 ② 大社御縁鰯・小伊津アマダイについて ア 漁獲量・漁獲高の推移 イ 販路拡大の取り組みと支援 ウ アカアマダイの資源回復と栽培技術確立の進捗 エ ブランド化に向けての課題				
(2) 市営住宅の整備事業について		都市計画 担当部長		
① 出雲市公営住宅等長寿命化計画について ア 耐用年数が経過した住宅数 イ 需要と供給のバランス ウ 住宅の定期点検の頻度と主な点検項目 エ 空家と政策空家数 ② 市営住宅の建替事業について ア 住民の方からの建替や修理の要請の状況 イ 家賃を低額に抑制するための方策 ウ 建替費用の総額 エ 民間賃貸住宅の借り上げ等の検討 ③ 計画の見直しの要点				
(3) インバウンド（外国人旅行者）の誘客推進について		経済環境 部長		
① インバウンド事業について ア 外国人旅行者の宿泊者数、滞在日数 イ 外国人旅行者の増加による経済効果 ウ 目標値（H33）達成の見通しについて ② 農林水産業と連携した滞在型インバウンド誘致				

質問者	9 大谷良治		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) ものづくり産業（地場産業）にむけた取り組みについて		経済環境 部長	
① 地場産業に対する支援について ア 取り組み内容の現況（匠の継承支援・商品開発・販路拡大等） イ ものづくり人材の育成、熟練技能継承の重要性と支援について ウ 人材の確保にむけた取り組みと課題			
(2) ワーク・ライフ・バランスの取り組みについて		市民文化 部長	
① 現在の取り組みについて ② 職員の育児・介護休業等の取得状況の現状について ア 取得者数（取得率）と他市との比較 ③ 企業・事業者における男女共同参画（ワークライフバランス）の推進について ア 取り組み内容と評価と課題			

質問者	2 玉 木 満		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 出雲市の防災について			
<p>① 防災の日に開催している出雲市防災訓練について</p> <p>ア 今年度の開催状況と振り返りの内容について伺う。</p> <p>イ 過去と比較すると、近年は小規模な訓練が続いているが、今後の方針は。</p> <p>ウ 幼児期及び学童期における、防災教育の絶好の機会と考えるが、市の考えは。</p> <p>② 出雲市の防災体制について</p> <p>ア 広域甚大化する傾向にある災害に対して、市の姿勢を伺う。</p> <p>イ 平時から災害に精通したチームが、防災安全課に必要と考えるが、市の考えは。</p> <p>ウ 通信途絶時を考慮した、災害弱者への対応は。</p>		防災安全 担当部長	

質問者	4 後藤由美		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 市の介護保険計画について			
<p>① 介護保険制度ができて17年が過ぎました。国は当初「家族介護を解決」「社会全体で介護を支える」ために、介護保険制度を導入するといっていました。しかし現実には保険料・利用料は上がり続け、受けられるサービスは削減され、介護現場で働く職員の確保もままならない状況です。来年4月からは第7期の介護保険制度がスタートしますが、この介護保険制度に対する市の認識を伺います。</p> <p>② 介護保険料はほぼ改定ごとに引きあげられてきました。しかし、年金などの収入は下がり、国保や消費税の引き上げなどで暮らしは大変になっています。</p> <p>ア 介護保険料は引き下げるべきです。特に低所得の方は保険料の負担が大きくなっています。無年金や収入のない方、生活保護の方も現在年間31,428円の保険料が必要です。これを思い切って下げを求めますが、所見を伺います。</p> <p>イ 2016年度の保険料未納者は何人ですか。普通徴収、特別徴収ごとに伺います。</p> <p>ウ 同時期に保険料・利用料の減免を受けたのはそれぞれ何人でしたか。</p> <p>エ 減免制度の拡充を求めますが、所見を伺います。</p> <p>③ 今年1月時点で、特別養護老人ホームへの申込者数は1080人でした。来年4月の介護保険計画の中で、この特別養護老人ホームの定員増を求めますが、所見を伺います。</p> <p>④ 介護労働者の処遇改善は大きな課題です。やりがいを見だし、希望をもって就職した若い労働者がやめていく実態があります。市としては現場の実態をよくつかみ、介護報酬とは別枠の国費の直接投入による賃金引き上げを国に要求すると同時に、市独自で労働環境を改善するための支援策を講じるべきではないかと思いますが、所見を伺います。</p>		市長	
(2) 児童クラブのあり方について			
<p>① 「育児休暇に入るとやめないといけなくて困っている」「18時半までの延長をしてほしい」という、児童クラブに関する要望が寄せられました。そこで、児童クラブを訪問したり、状況を伺いながら問題だと思った点を伺います。</p> <p>ア 保護者の視点から伺います。</p>			

<p>a 親が産前休暇・産後休暇は入会できますが、育児休暇はできません。家庭の状況は様々ですが、希望があれば利用できるような環境を整えておくことが必要です。対応の改善を求めますが、所見を伺います。</p> <p>b 「子ども・子育て支援新制度」に移行した2015年から、それまで「おおむね10歳未満の児童」から「小学校に就学している児童」つまり、6年生まで入会が可能になりました。しかし、希望者が全員入会できている状況にはありません。この実態をどう認識しているのか伺います。</p> <p>c 児童クラブの待機児童解消に向け、児童クラブの整備・促進を求めますが、所見を伺います。あわせて現在の学年ごとの待機児童数、来年度の見通しを伺います。</p> <p>イ 支援員の視点から伺います。</p> <p>a 「働くものの身分保障をしっかりしてほしい」「時給でやっていて、有給もない」など依然として職員の処遇改善が待たれています。運営委託費の人件費を、別枠で算定するなどの見直しが必要と考えますが、所見を伺います。また、この間どのような改善策をとられたのか、伺います。</p> <p>b 各児童クラブの入所定員数の決め方が、単に、市が基準とする1人あたり1.85㎡で割ったものを定員数の目安とされています。「この基準では子どもの安心・安全を守る点からも多いと感じている」との声が寄せられました。この声にこたえて改善を求めますがいかがですか。所見を伺います。</p>	<p>市長</p>
--	-----------

質問者	17 西村 亮		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 外洋内水面の漁業振興と今後の拡充対策			
<p>① 漁業に関する予算は外洋内水面を問わず少額であり今後漁業振興をはかる為にも拡充すべきと考えます。 充実した漁業振興策を今後どのような取り組みがなされ漁業の発展を目指していかれるのかお示し下さい。</p> <p>② 宍道湖の水草対策であります近年水草が急速に増えており、また水草の処理方法が課題であり、水草の刈り取り船や人員不足の解消、リサイクルの確立が求められます。 今年の夏頃には腐敗臭が漂い、湖岸にお住いの住民の皆様は悪臭に悩んでおられました。 早期の対応が必要不可欠と考えるが所見は。 宍道湖は国が管理しており対応策は講じていますが処理能力は1/3程度であり、県・松江市・出雲市の積極的な対応が必要であり重要課題と考えるが対応策を伺う。</p>		市長	
(2) 女性消防隊の防火訓練実施方法			
<p>① 先般消火栓を使用して防火訓練実施方法について女性消防隊員の方が消防署に連絡された際、消防署員から消火栓の使用はだめでそれ以外の方法で訓練する様指示された様であります。 女性消防隊の皆様が積極的に訓練される事は大いに推奨すべきであって、水をさす様な指示は消防署員としていかがでしょうか。 消防署員に対しあえて苦言を呈するものであります。 あらゆる訓練は必要不可欠であり一朝有事の場合、的確な指示行動をする為にも訓練は回数を重ねれば重ねる程効果を発揮するものと考えます。 消防長の見解をお伺いします。</p>		消防長	

質問者	5 川 光 秀 昭	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容			
(1) 防災行政無線の整備、運用について		市長	
<p>① 出雲市では、緊急時に気象情報および災害情報等の的確かつ迅速な伝達を行うために、防災行政無線が整備されました。平成23年度から整備が始まり、平成29年6月に出雲平野部、平田、大社地域での利用開始により事業は完了したものと推察されます。大社地域では、このシステムを訓練等にも利用し、防災行政無線を日常生活に定着させる努力もなされていますが、現状では公になっているような運用が困難な状況にあるようです。そこで、防災行政無線を整備する際の目的や仕様、設備の選定について、特に第2期整備工事分について伺います。</p> <p>ア 整備する際の予算と仕様、当初の目的の整合性について</p> <p>イ 出雲市の防災行政無線の運用の考え方について</p> <p>ウ Jアラートとの関連について</p>			
(2) 介護職の外国人技能実習制度について		市長	
<p>① 外国人が日本で働きながら技術を身に付ける「外国人技能実習制度」の適正化法が11月1日に施行されました。新たに介護職も対象に加わり、人手不足にある介護業界でも受け入れを予定している業者もあり、山陰両県でも実習生との面談が始まっているとの情報もあります。出雲市での現状と介護分野での運用についてお伺いいたします。</p> <p>ア 出雲市での介護業界での人手不足の現状</p> <p>イ 出雲市で介護分野での外国人技能実習生を受け入れの課題と業者への指導</p> <p>ウ この制度の評価方法について</p>			

質問者	8	本 田 一 勇	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 多伎いちじくの改善策は		農林水産 部長	
① 出雲市では、多伎いちじくの現状をどのように受け止めておられるか。ご教示ください。 ② 現状を改善する為に、どのような生産対策や販売対策をお考えでしょうか。ご教示ください。			
(2) 旧田儀小学校の今後の利活用は		財政部長	
① 耐震基準に適合している学校の利活用の提案はあるか。ご教示ください。 ② 提案が無い場合は解体するのか。ご教示ください。			

質問者	3 山内英司	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容		経済環境 部長	
(1) 出雲日御碕夕日鑑賞バスについて			
<p>① 平成29年4月28日に稲佐の浜や日御碕の海岸線を中心とする夕日ストーリー「日が沈む聖地出雲～神の創り出した地の夕日を巡る～」が日本遺産に登録されました。その夕日の素晴らしさを鑑賞する「出雲日御碕夕日鑑賞バス」が平成29年7月16日から11月25日の金・土・祝日の前日及び11月27日～30日運行されました。</p> <p>そこで以下について伺います。</p> <p>ア 夕日鑑賞バスの乗客者数について伺います。</p> <p>イ 夕日鑑賞バスの反省点、改善点について伺います。</p> <p>ウ 次年度の運行についてどうお考えか伺います。</p>			

質問者	19 伊藤繁満	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 出雲斐川中央工業団地南工区開発方針及び周辺道路、交通網の整備方針について伺います		記事
<p>① 標題に掲げる南工区は隣接する西工区約5haとともに開発計画が進められ企業誘致の受け皿として期待されてきました。西工区を優先して整備し竣工後は、先に(株)出雲村田製作所に45千円/坪で売却されました。南工区については出雲国山陰道跡として国史跡指定面積約1.5haを除き残り約5.0haの利用方針が定まらないままに開発を断念する方針が示されました。出雲市全体の工業団地は平田にある東部工業団地の売却はあまり進んでいないが、全体では分譲率は96%を超え、早急な工業団地造成が必要であるとされ、現在、新規の工業団地計画について候補地を検討中であり、新規工業団地売却は早く見込んで今後4～5年後のことになり雇用の場の確保に向けての企業誘致活動は相当厳しくなるし、当分望みがないように考えられます。若者が適正な業種を選択することが更に厳しさを増すことにつながり県外へ就職する傾向が増すばかりではなくUターン・Iターン者の出雲市に対する魅力は低下すると想像できます。労働力の確保が多く企業から求められている昨今において、進出企業の需要に応じる状況には無く開発計画が妥当であったのか伺います。</p> <p>② 周辺道路渋滞問題に関し、(株)出雲村田製作所関連の通勤車両をはじめ周辺企業に通勤する車両、地域に居住する方の町外への通勤通学車両について、渋滞緩和策が検討されているが、小手先対策ではなく将来における効果的な対策を講じることが肝要であります。以下7項目について伺います。</p> <p>ア 南工区に投じた経費について</p> <p>イ 開発断念に至った経緯について</p> <p>ウ 古くから筑紫街道が道路遺構とされ、斐川町内を東西方向に縦断していることは承知してきたところであるが、今回の開発計画を進めるに当たり2001年斐川町教育委員会の発掘調査報告書を承知して開発計画を進めてきたのか。</p> <p>エ 企業誘致のトップセールスを行うのに受け皿の無い状況下で、東京、大阪、京都、中京圏ではどのようなプレゼンテーションを行うのか。</p> <p>オ 次の開発計画の速度を早めるべきと考える。第4次産業革命の進化は相当進んでいる。適切なトップダウンにより早い段階で団地造成が必要ではないか。</p> <p>カ 渋滞緩和対策は長期的対策と短期的対策に分けること。国道9号と県道、市道の役割を有効的に講じる必要があると考える。調査・検討状況をふまえ方針はいつごろ公表する考えか。</p>		市長

<p>キ 富村の交差点（西野小学校付近）から東へ宍道インター付近まで国道の4車線化計画を進めるとともに、出雲縁結び空港のアクセスとして利便性の向上を図ること。</p> <p>又、（株）出雲村田製作所東の市道直江新川線、市道直江杉沢線の県道昇格L=2571.1m、市道南広域線L=6433mを県道昇格し今後整備していくこと。</p> <p>当面の対策として市道直江新川線は道路全幅員が17mを超えており車線を片側2車線として整備し、新川地内は既設市道の交差点改良や一部拡幅等により渋滞緩和が図れるのではないかと考える。</p> <p>ソフト面では企業側に時間差出勤等、今以上に理解を求められたらどうか伺います。</p>	
--	--

質問者	32 長 廻 利 行	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 大社門前町を中核とした観光振興策について		
<p>① 平成の大合併から12年、出雲観光大国の中核拠点である大社門前町は、平成の大遷宮という好機にも恵まれ、着実に整備も進んでおり、今も賑わいは続いている。</p> <p>この12年を振り返ると、合併当初の計画通りに進んでいる事業もあれば、その後の事情により変更、中止となった事業もある。</p> <p>第1期整備となる勢溜から神門通りにかけては、建物の修景や電線の地中化、通りの石畳化など計画通りに整備され、通りの店舗も増えて、歩いて楽しい通りとして見事に甦った。</p> <p>今後、第2期整備のご縁広場周辺と第3期整備の旧大社駅周辺の整備がどのように進んでいくかが、大社門前町の再興、ひいては出雲市の観光振興の行方を左右すると考えている。</p> <p>そこで、以下のとおり質問する。</p> <p>ア ご縁広場周辺の整備について、先般、ご縁広場の新たな活用に関する民間事業者が決まったが、駐車場機能も含め、大社門前町におけるご縁広場の位置づけをどのように考えているか。</p> <p>出雲インターを車の主要動線と考えると、ご縁広場周辺に新たな駐車場を整備して、神門通りの歩行動線の強化を図るべきと考えている。</p> <p>イ 旧大社駅の整備について、保存活用計画もでき、来年度以降、整備が進められていくものと思われるが、大社駅100周年までの整備活用計画を示していただきたい。</p> <p>また、ご縁広場交差点から旧大社駅までの駅通りの整備計画はあるか。</p> <p>ウ 観光協会事務局が旧大社駅舎に移転すると聞いているが、旧大社駅に観光協会が入ることによる観光情報発信拠点としての位置づけと旧大社駅の保存活用についてどのように考えているか。</p>		市長

質問者	18 大場利信		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 中学校を卒業した定住外国人の子ども等の高校進学支援について		総合政策 部長	
<p>① 中学校を卒業した者あるいはそれ以上の年齢の者は、教育委員会あるいは学校の指導・支援もなくなり、言葉や制度・習慣の違いという大きな壁を前に、今後の進路について戸惑う子どもや親がいます。NPO法人や日本語ボランティアを頼りに高校受験に向けて頑張る子もいますが、明確な目的もなく自宅で過ごす子どももいると聞いています。このような子どもへの具体的な支援について以下伺います。</p> <p>ア このような子どもの人数</p> <p>イ 出雲市多文化共生推進プランではこのような子どもの高校進学のための「民間支援団体等への支援する」旨が挙げられていますが、この内容</p> <p>ウ 支援策の策定に当たっては教育委員会の社会教育主事の助言・指導・関与も必要かと考えますが、この点についての見解</p>			
(2) 社会教育振興体制の充実について		教育部長	
<p>① 出雲市の教育委員会は学校教育に特化され、長い間社会教育主事不在でありましたが、今年4月から派遣社会教育主事が2名配置され、社会教育（生涯学習）に関する専門的知見を基に、関係する人々と連携し、地域での子どもの教育をはじめ、地域づくりや人づくりなどに取り組み、新鮮な影響を与えていると聞いています。そこで以下の点を伺います。</p> <p>ア 4月に派遣社会教育主事が2名配置されたが、これまでの主な実績</p> <p>イ 学校やコミセンに与えた影響</p> <p>ウ 家庭教育あるいは子育ての推進</p> <p>エ 地域づくりを担う人材の育成への取り組み</p> <p>② 支所やコミセンの在り方が検討される中、将来的には地域の活性化のキーマン的役割を担わせることを念頭に、これらの部署に社会教育主事を計画的に配置することを考えても良いと考えるがこれについて見解を伺います。</p> <p>③ 厳しい財政難の中でも、子どもをはじめ地域の人々が生き生きと過ごせる地域を創造するため、出雲市の社会教育推進組織を順次拡充すべきと考えますが、見解を伺います。</p>			
(3) 出雲村田製作所周辺の環境整備について			
<p>① 出雲村田製作所の周辺環境の整備について、その後の検討状況を伺います。</p>			

<p>ア 検討組織および検討回数</p> <p>イ 地域の関心の高い ・渋滞緩和と道路整備 ・交通安全関係施設 ・駐車場整備 ・雨水、排水対策 について、主な検討状況と課題</p> <p>ウ 今後の検討スケジュール</p> <p>② 関連して、村田製作所通勤者も含めた J R 直江駅の利用について</p> <p>ア ここ 5 年間の乗降客数</p> <p>イ 現在の駅舎の管理状況</p> <p>ウ 村田製作所通勤者の J R 直江駅の利用方策の検討</p>	<p>市長</p>	
--	-----------	--

質問者	20 保科孝充	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 「出雲国山陰道跡」国史跡指定への答申と周辺整備を伺う		
<p>① 「出雲国山陰道跡」国史跡指定への答申と周辺の整備計画</p> <p>ア 今後の整備計画</p> <p> a 史跡指定範囲内（21,979㎡）の全体調査は終了したのか</p> <p> b 考古学研究者、考古学ファン見学のための受け入れ対策 見学ルート、駐車場の整備等</p> <p>イ 市道杉沢線をはさんで東へと続いているが、調査等今後の考え方</p> <p>② 出雲斐川中央工業団地南工区の開発断念に伴う周辺の道路網整備と交通安全対策について</p> <p>ア 市道三井線の整備</p> <p>イ 斐川工業団地周辺の交通渋滞等緩和対策整備事業（今年度6月補正）の調査等進捗状況</p> <p>③ 出雲斐川中央工業団地東工区約18haの整備計画</p> <p>④ 国史跡について</p> <p>ア 出雲市内、島根県内にそれぞれ何箇所あるのか</p> <p>イ 付近の開発制限と案内板等の表示規定等</p>		市長
(2) 出雲市立総合医療センターの経営状況を聞く		
<p>① 平成26年度2月に報告のあった包括外部監査書にある指摘にどう対応しているか</p> <p>ア 運営形態と事業形態の見直し</p> <p>イ 経営の効率化</p> <p>ウ 責任体制</p> <p>エ 経営改革に取り組む姿勢</p> <p>② 神奈川県三浦市を視察した実例から伺う</p> <p>ア 経営経験のある民間人の公募など事務局の改革をすべきと思うがいかがか</p> <p>イ 訪問診療業務について今後の計画</p> <p>③ 新改革プランについて</p> <p>ア 総務省は平成28年3月に「公立病院経営改革事例集」を発刊し、経営の効率化、再編、ネットワーク化を促しています。 新改革プランにおける健全化に取り組む姿勢をお聞かせください。</p>		病院事業 管理者

質問者	24 板倉 一郎		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 企業の人手不足と人材育成への支援について			
<p>① 現在、出雲市の企業において、人手不足が深刻な問題になっている。また、若い方が、採用が出来ない、あるいは他の企業へ転職されるなどして、若い技術者が育成出来ないため、将来の事業への不安を感じる声がある。このような状況に、市も積極的に対応していかなければならないと考えます。そこで、次の点を伺う。</p> <p>ア 出雲市の人手不足の現状を、どのように認識しているのか伺う。</p> <p>イ 企業の人材確保について、どのように支援をしていく考えか伺う。また、県外などへ出雲市への就職と定住セットにした積極的な取り組みも必要と考えるが、どのように考えているのか伺う。</p> <p>ウ 出雲市における新卒者の市内企業への就職状況について伺う。</p> <p>エ 特に、製造現場や建設現場における技能専門職の不足が深刻であり、今ある仕事だけでなく、将来にわたる技術継承にも問題となっている。その点について、市は、どのように考えているのか伺う。</p>		市長	
(2) 急増する外国籍住民への対応について			
<p>① 出雲市で、外国籍の住民が急増しているように感じている。</p> <p>昨年9月にも質問しているが、地域の中では、住民生活環境や教育現場を含めいろいろな課題が発生している。今後も、出雲市が将来に渡って活力を維持していくためには、外国人のみなさんの力が必要であるが、日本人および外国人が、ともに住みやすい街でなければならぬと考え</p> <p>る。</p> <p>そこで、次の点について、市長の考えを伺う。</p> <p>ア 現在の外国籍の住民の在住の実態を伺う。地域別および、年齢構成別（成人、未成年、中学校、小学校、幼稚園、保育園、乳幼児などの区分）の人数を伺う。また、将来の見通しについて伺う。</p> <p>イ 現在どのように課題を認識し、どのような対応をしているのか伺う。</p> <p>ウ 地域の中で、地域住民と外国籍の住民が、対話をする機会を積極的につくるように行政が関わるべきと考える。その考えを伺う。</p>		市長	

質問者	1	今岡真治	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 認知症患者とその家族支援について		市長	
<p>① 2025年には、65歳以上高齢者の約5人に1人が認知症に罹患すると言われ、今後さらに増加することが見込まれる中で、認知症患者とその家族が認知症とともによりよく生きていくことができるよう環境整備を行っていくことが必要であると思うが出雲市の対応を伺う。</p> <p>ア 出雲市における認知症患者数。</p> <p>イ オレンジカフェいずも（認知症カフェ）の実施状況について。</p> <p>ウ 今後、オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施場所を増やしていく考えはないか伺います。</p>			
(2) 生活困窮者の自立支援について		市長	
<p>① 出雲市における生活困窮者自立支援制度に対する実施状況について伺います。</p> <p>② 生活困窮者等への就労支援はどのように行っているか伺う。</p>			

質問者	1 1 湯 淺 啓 史		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 出雲市へ訪れる観光客の動態調査は継続的に行い、その結果を素早く公表すべきではないか			
<p>① 平成25年(2013)の出雲大社 平成の大遷宮により爆発的に増加した出雲市への観光客は、その後、年を経てどのような状況か</p> <p>ア 平成25年(2013)以後の出雲市への入り込み客数、宿泊者数を示されたい</p> <p>イ 入り込み客数、宿泊客数はどのような調査方法で算出されているのか</p> <p>ウ 入り込み客数、宿泊客数以外に、観光客の動向をつかめる指標はあるのか</p> <p>② 出雲市独自に行った観光客動態調査やそれに類するアンケート調査などの内容と結果の分析と公表について</p> <p>ア 調査時期と事業予算</p> <p>イ 調査方法および項目はどのようなものであったか</p> <p>ウ 調査結果は、どのように分析され公表されたか</p> <p>③ 平成29年度当初予算に盛り込まれている観光動態調査と日本遺産推進協議会事業として行われる観光動態調査について</p> <p>ア 調査内容</p> <p>イ 調査時期</p> <p>ウ 調査結果の公表時期</p>		市長	